

# 龍ヶ崎市財政運営の基本指針等に関する条例第19条及び同条例施行規則第11条の規定による「財政運営影響額」の公表資料

## 1. 事業概要

予算措置：平成28年度龍ヶ崎市公共下水道事業特別会計予算

【件名】佐貫排水区雨水貯留施設整備工事

金額：223,600千円

期間：平成28年度

## 2. 財政運営影響額

### (1) 投資的経費

当該事業における初期費用は、223,600千円(工事請負費)である。

### (2) 経常的経費

当該施設における経常的経費は以下のとおり、

「維持管理にかかる経常コスト」は、10年目は775千円、20年目は855千円、30年目は943千円、30年間のトータルでは24,605千円、

「事務・事業運営にかかるコスト」は、10年目は6,865千円、20年目は7,583千円、30年目は8,377千円、30年間のトータルでは218,345千円、

「償還金等」は、10年目は5,031千円、20年目は4,580千円、30年目は4,130千円(償還終了)、30年間のトータルでは122,136千円と試算された。

「年別合計」の試算結果は、10年目は12,671千円、20年目は13,018千円、30年目は13,450千円、向こう30年間のトータルでは365,086千円である。

※試算結果については【別紙1】を参照のこと。

### (3) 更新費用

大規模改修・更新にかかるコストについては、経年による老朽対応などにより、5年目時点で1,000千円、10年目時点で10,000千円、20年目時点で18,000千円、30年目時点で20,000千円、合計で49,000千円の改修費用が見込まれる。

## 3. 事業の目的及び社会的便益等

佐貫地区は近年のゲリラ豪雨や台風などの集中豪雨の際に、しばしば道路冠水等が起きている状態である。

これは短時間で降る雨の量の増加や、宅地化が進んだことにより雨水の流出量が増加し、また、排水路に流れ込むまでの時間が短縮したために、既存の施設では流下能力や排水能力が不足してきているためである。

排水施設全体を改修すれば能力不足を解消することは可能であるが、全体的に改修するには、改修費用はもちろん改修にかかる年月も長期にわたることから、既存排水施設の流下能力及び排水能力を上回った分の雨水を一時的に貯留する施設を設置することにより、既存施設の負担を軽減し道路冠水等の軽減を図るものである。